

R6年度補正予算

持続可能な物流を支える物流効率化実証事業

令和 7 年 3 月

中国経済産業局

持続可能な物流を支える物流効率化実証事業

令和 6 年度補正予算額 **23億円**

(1) 商務・サービスG物流企画室
(2) 商務・サービスG
消費・流通政策課/物流企画室

事業の内容
事業目的 「物流2024年問題」への対応として、今年 4 月に改正物流法が成立。全荷主・物流事業者に対し、物流効率化のための取組を義務づける中、複数企業が連携する物流効率化に資する取組に対し、システム構築費用等の補助を行い、物流効率化の取組を促す。 また、地域における物流の維持は今後ますます重要。増加が見込まれる買物困難者への対応策として、先進的なモデル事例を組成する。
事業概要 (1) 物流効率化に資する連携実証事業 企業規模を問わず、複数企業が連携した物流効率化に資する取組に対し、物流施設の自動化・機械化に資する機器・システムの導入、プラットフォームの構築等に係る実証費用を補助することを通じて、改正物流法の取組の実効性を高める。 (2) 買物困難者対策事業 地域における買物困難者対策を支援するため、自動配送ロボットの実証実験等を補助。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）
(1) 物流効率化に資する連携実証事業 <pre>graph LR; A[国] -- "補助 (定額)" --> B[民間企業等]; B -- "補助 (1/2)" --> C[民間企業等];</pre> (2) 買物困難者対策事業 <pre>graph LR; A[国] -- "補助 (定額)" --> B[民間企業等]; B -- "補助 (1/2)" --> C[民間企業等];</pre>
成果目標 本実証事業を通じ、複数企業が連携した物流効率化に資する取組を促進し、2024年問題及び構造的な需給ひっ迫による輸送力不足の解消を行い、我が国の物流の効率化を進め、トラックの積載効率50%を目指す。また買物アクセスに支障を有する地域での購買機会確保を目指し、買物困難者対策に資するサービスの展開を目指す。

（１）物流効率化に資する連携実証事業

R6補正事業 概要案（物流効率化に資する連携実証事業）

項目	詳細
対象事業者	大企業、中小企業の 荷主 及び 物流事業者 等 （※荷主が一社以上含まれていることが必須とする。3社以上をコンソーシアム案件と認める。） （※物流事業者（倉庫業、運送業、3PL、物流不動産）のみのコンソーシアム申請は認めない。物流事業者が補助対象となるのは、荷主一社以上と連携 している場合のみ。） （※コンサル会社、リース会社はコンソに参画することはできるが、コンソメンバーの1社とカウントすることはできない。）
申請形式	コンソーシアム申請
補助率	1 / 2
予算総額	20億円
補助上限額	5億円 ※検討中
投資下限額	5000万円 ※検討中
採択予定件数	20～40件程度
補助対象経費	R5補正と同様（機械装置費、システム費、専門家経費など）
補助要件	「利用する物流事業者側の業務効率化（荷待ち・荷役等作業時間もしくは積載率向上）」 と「物流施設側における業務効率化」が必要
留意事項	単年度事業であり、実証期間が1年以内であることに注意。

①補助対象経費

令和5年度補正予算と同様、マテハン機器や標準的な物流資材、システム関連などのハード・ソフト経費をいずれも補助対象とする。

入出荷

トラックローダー

フォークリフト（有人・無人）

パレタイザー・デパレタイザー



トラックスケール

⋮

保管

物流資材、洗浄等附属設備

レンタルパレット



自動倉庫（ビル式、パレット式）



保管ラック

⋮

運搬

コンベヤ

垂直搬送機

AMR（自律走行搬送ロボット）



AGV（無人搬送ロボット）



⋮

仕分け

自動・無人仕分け機



ピッキングシステム・ロボット



⋮

等

（画像出所）株式会社ダイフク、オークラ輸送機株式会社、トラスコ中山株式会社、GROUND株式会社、国土交通省「物流DX導入事例集」掲載事例

システム投資

バス予約システム

RFID等自動検品システム

車両入退場管理システム

工程設計・BIシステム

伝票電子化・物流EDI

積付管理システム

AIカメラ・システム

輸送マネジメントシステム

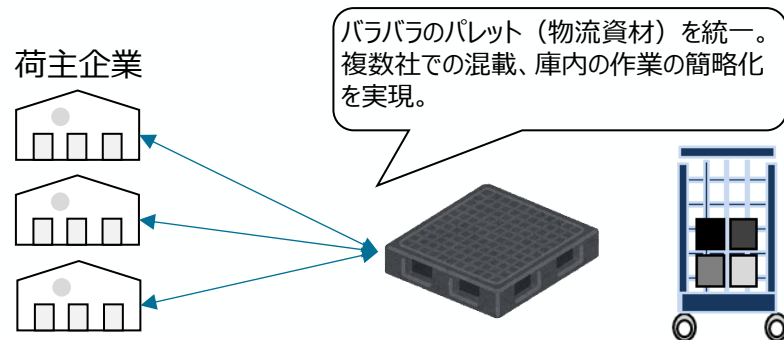
等

②コンソーシアム事例

複数の企業によるコンソーシアム形式での共同申請のみを申請として認める。関連企業と一体となって、ハード・ソフトの物流設備への投資を行うことで、より高い物流効率化効果を生むことが目的。

【コンソ例①】パレット（物流資材）の統一

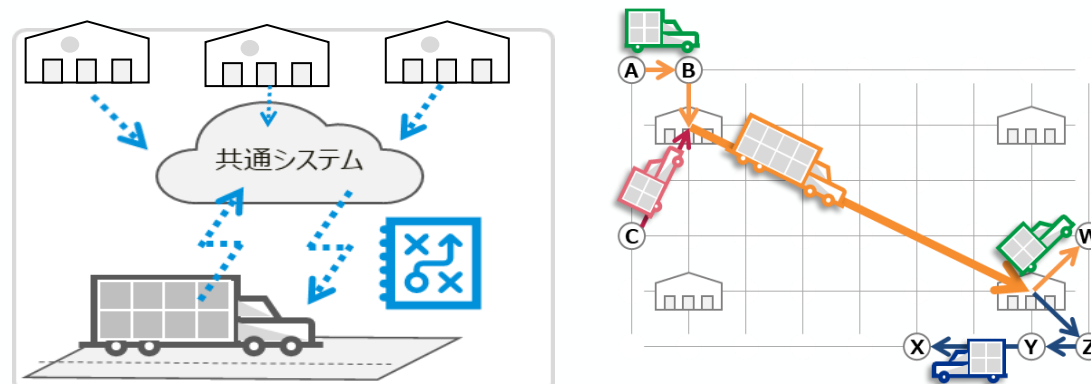
サプライヤー毎にバラバラの資材で納入が行われていたが、複数の荷主において、業界標準パレットを採用。



【コンソ例②】共同輸配送（水平連携）

業界内や業界を超えた荷主・物流事業者による、共同輸配送の実施に向けた共通システムを構築。

データ収集、ルート設計等の共同輸配送の実現に向けた実証を実施。



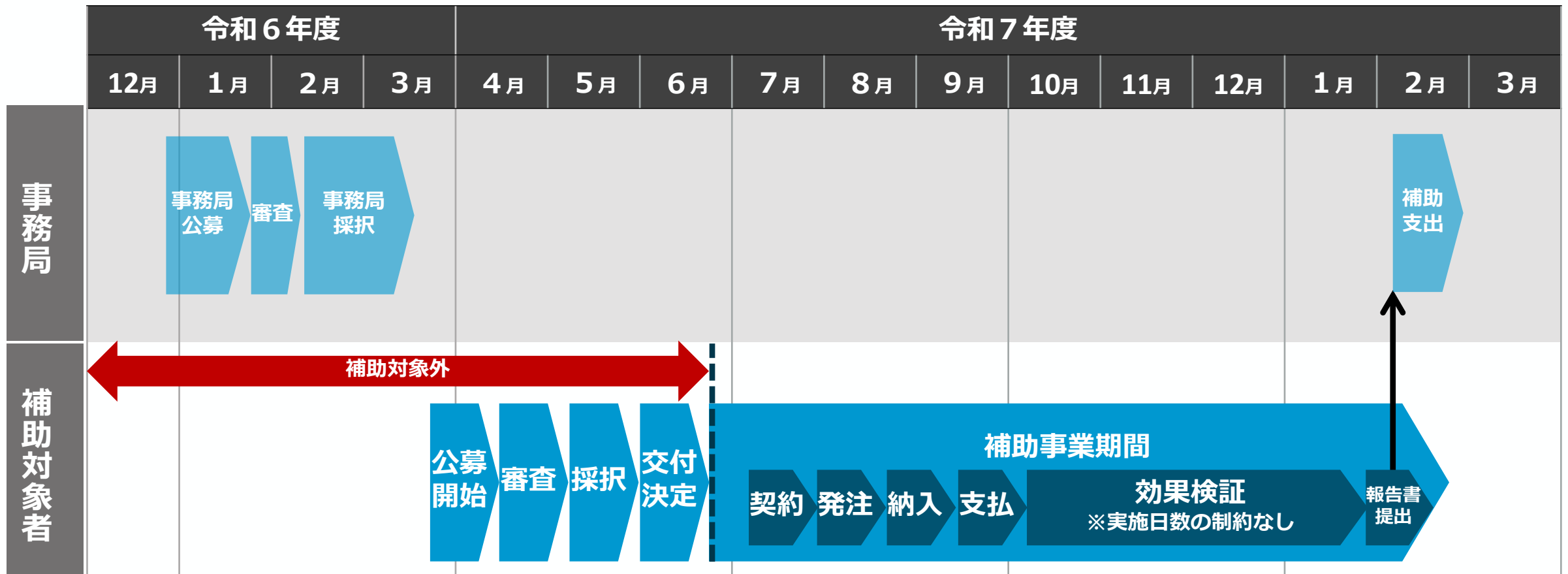
【コンソ例③】製・配・販の連携（垂直統合）

メーカー卸売間、卸売-小売間のサプライチェーン内で、物流効率化のための共通の物流情報システムを導入。



③補正予算のスケジュール（イメージ）

- ・ 実施時期は前後する可能性あり。
- ・ **交付決定前の事前着手・契約・発注は、補助対象外。**



参考) 令和5年度補正予算 HP

申請に必要な書類等は令和5年度補正予算の内容も参考にさせていただきたい。

HP掲載情報

採択情報	採択事業者と事業概要の一覧
公募情報	公募期間、説明会資料、説明会動画、補助対象経費
事業について	事業概要／公募要領／交付規程
申請方法	申請様式、注意点など

令和5年度補正予算

物流効率化に向けた 先進的な実証事業

物流効率化のための設備・システム投資を応援

- 1 荷主企業における物流効率化に向けた先進的な実証事業
- 2 自動配送ロボット導入促進実証事業

HPリンク : <https://logiefficiency-meti.jp/>

(参考)

(2) 買物困難者対策事業

より配送能力の高い自動配送ロボットによる課題解決

- 低速・小型ロボットよりも大きく、速い、いわゆる「より配送能力の高い自動配送ロボット」は、その事業性や省力化の観点から、将来、買物困難者等の支援に活用されることが期待されている。
- 本補助事業では、買物困難者等の支援に資する自動配送ロボットの実証実験の補助を行うことで、モデル事例を創出することを目指す。

より配送能力の高い自動配送ロボット



中速・中型ロボット

【画像出典】 Neolixウェブサイト
<https://neolix.net/>



中速・小型ロボット

【画像出典】 COCO delivery ウェブサイト
<https://www.cocodelivery.com/>

買物困難者等



高齢者

「食品アクセス困難人口」として定義されている
店舗まで 500m 以上かつ自動車の利用が困難な
65歳以上の高齢者など



食料品の購入等に
不便や苦勞を感じる方